

米百俵プレイス西館・東館 官民複合施設では県内初認証 「ZEB Oriented」な環境整備でエネルギー消費量4割削減！

長岡市では、大手通坂之上町地区での市街地再開発事業を進めており、7月22日には「米百俵プレイス ミライエ長岡」が先行オープンします。ミライエ長岡が入る米百俵プレイス西館・東館は、「快適な室内環境の確保」と「エネルギー消費量の削減」を両立する、環境に配慮した施設となるよう整備を進めており、長岡市カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050では「公共施設のZEB化」の取り組みとして位置付けています。

整備に当たっては、温室効果ガス排出量を削減する手法を率先的に取り入れ、米百俵プレイス西館が令和3年に県内で初めて環境省「ZEB Oriented^{*}」認証を取得。これに続き、市が整備する米百俵プレイス東館についても本年3月に同認証を取得し、官民複合施設としては、県内初の認証事例となりました。

※ 省エネと未評価技術の導入による更なる省エネを組み合わせ、従来の建物に比べ、必要なエネルギーを40%以上削減する建築物かつ延べ面積が1万㎡以上の建物が対象

1 ZEB Oriented 認証取得日

- ・ 米百俵プレイス西館 令和3年3月30日（申請者：独立行政法人都市再生機構）
- ・ 米百俵プレイス東館 令和5年3月6日（申請者：長岡市）

2 環境へ配慮した整備の内容

- 建築的手法
 - ・ 自然換気システム
 - ・ 日射遮蔽のための外部ルーバー
 - ・ ハイサイドライトによる自然採光・自然換気
- 機械的手法
 - ・ クール・ヒートトレンチシステム
地中熱を室内に取り入れ、外気にもたらず熱負荷を低減
 - ・ 全熱交換器付外調機
冬季と夏季において、室内の空気と外気を熱交換し、外気の熱負荷を低減
 - ・ 外気量制御、空調ファン制御の高度化（VAV）
室内の負荷（温度差）によって送風量を調整し、室内の温度や風量が適正になるよう制御

- 電気設備手法 ・全照明LED化
・調光・自動消灯など

3 エネルギー消費量等削減効果

米百俵プレイス東館は、上記手法による整備を取り入れたことにより、通常と同規模建築物と比較して、下記の削減効果を見込みます。

□一次エネルギー消費量削減

西館：約44%

東館：約41%

□ランニングコスト削減効果

西館：ガス 約38%、電気 約36%

東館：ガス 約38%、電気 約24%

～米百俵プレイス西館・東館 外観イメージ～



〔 問い合わせ：中心市街地整備室 荻澤 電話0258-39-2807 〕